

**製品名: MMP-8 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13998**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MMP8
別名	MMP8; CLG1; Neutrophil collagenase; Matrix metalloproteinase-8; MMP-8; PMNL collagenase; PMNL-CL
遺伝子 ID	4317.0
SwissProt ID	P22894
免疫原	抗血清はヒト MMP-8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 418-467

**背景**

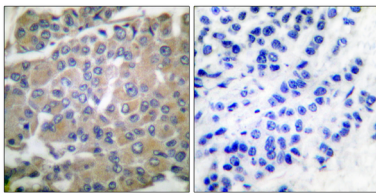
マトリックスメタロペプチダーゼ 8 (MMP8) ホモサピエンス この遺伝子は、マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) ファミリー

のタンパク質のメンバーをコードしています。これらのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングにおける細胞外マトリックスの分解、および関節炎や転移などの疾患プロセスに関与しています。このタンパク質の異なる部位でのタンパク質分解により、異なる N 末端を持つ複数の活性型の酵素が生成されます。このタンパク質は、I 型、II 型、III 型コラーゲンの分解に機能します。この遺伝子は、染色体 11q22.3 に局在する MMP 遺伝子クラスターの一部です。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 1 月]、触媒活性: 三重らせんドメインにおける間質コラーゲンの切断。EC 3.4.24.7 とは異なり、この酵素は I 型コラーゲンよりも III 型コラーゲンをゆっくりと切断します。補因子: サブユニットあたり 2 個の亜鉛イオンを結合します。補因子: サブユニットあたり 3 個のカルシウムイオンを結合します。ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンと結合し、酵素を阻害します。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離することで、酵素が活性化されます。酵素制御: 活性化ペプチドを除去しなければ活性化できません。機能: 線維状の I 型、II 型、III 型コラーゲンを分解します。類似性: ペプチダーゼ M10A ファミリーに属します。類似性: 4 つのヘモペキシン様ドメインを含みます。細胞内局在: 細胞内顆粒に貯蔵されます。組織特異性: 好中球。

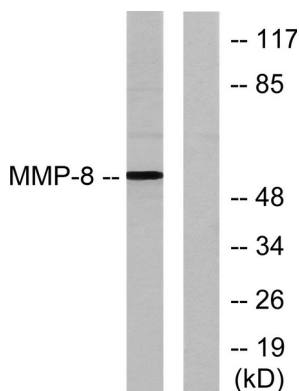
## 研究分野

血管新生

## 画像データ



MMP-8 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



MMP-8 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。

MMP-8 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析

